変更点

Confidential

項番	変更内容	変更前	変更後	ユーザ影響有無
1	冗長構成	3台	3台	無し
2	SMTPのグリーティング	220 ${接続先ホスト名 } ESMTP Sendmail Switch-3.3.4/Switch 3.3.4	220 ${接続先ホスト名 } ${接続先ホスト名 } server ready - 107	無し
3	拡張SMTPコマンド (EHLOコマンドの応答)	250-ENHANCEDSTATUSCODES 250-PIPELINING 250-8BITMIME 250-SIZE 36700160 250-DSN 250-ETRN 250-DELIVERY 250 HELP	250-SIZE 36700160 250-ENHANCEDSTATUSCODES 250-PIPELINING 250-8BITMIME	無し
4	SMTPのSTLS対応	非対応	非対応 ※対応可能(TLS1.0,TLS1.1, TLS1.2)	無し
5	送信ドメイン認証	SenderID	SPF/DKIM/DMARC	無し
6	流量制限(1アカウント宛大量流入対策)	なし	閾値(100通/分)超過時、一時エラーを一分間返す	有り
7	ドメイン認証ドメインホワイトリストの適用条件にマッチした場合のメールヘッダ	無し	X-AAMS-SenderDomainAuth-WL: true ※ 挙動は補足を参照	無し
8	ドメイン認証ドメインブラックリストの適用条件にマッチした場合のメールヘッダ	無し	X-AAMS-SenderDomainAuth-BL: true ※ 挙動は補足を参照	無し
9	ウィルススキャンエンジンの変更	Cloudmark AntiVirus	Kaspersky	無し
10	ウィルス検知文面 Envelope-From To ヘッダ 本文	Envelope-From: <> To: (元のメールのすべての宛先)	Envelope-From: (ドメイン管理者指定のアドレス) To: (元のメールの宛先) ※ 受信者に1通ずつ配送 本文の先頭に改行が挿入される	無し
11	通知メールの文字コード	ISO-2022-JP	UTF-8 (メールソフトの表示機能により、文字の大きさが変わる可能性がある)	有り

変更点

Confidential

項番	変更内容	変更前	変更後	ユーザ影響有無
12	ウィルス検知時の挙動	該当メールを遮断、添付ファイルをすべて削除し、元メールの本文をウィルス検知通知の添付ファイルとして、受信者に警告メールを送付する。	該当メールを遮断、添付ファイルをすべて削除し、元メールの本文をウィルス検知通知の添付ファイルとして、受信者に警告メールを送付する。 添付ファイル削除後、メール本文のウィルス検査結果の結果によって、元メールの本文を以下に置き換える。 ・ウィルス検知時 「メール本文にウィルスが検出されたため、メッセージが削除されました。」 ・本文が9MBを超える場合 「本文が9MB以上のメールはウィルススキャン不可のため、メッセージが削除されました。」 ・エラー発生時 「ウィルス検知エラーが発生したため、メッセージが削除されました。」	無し
13	異なる設備のMXサーバを経由しての受信	可	可 ※ 変更可能	無し
14	1台当たり最大セッション数	368	3000 (1000/1IPアドレス)	無し
15	セッションタイムアウト値	Timeout.initial=20s Timeout.connect=20s Timeout.iconnect=20s Timeout.helo=2m Timeout.mail=2m Timeout.rcpt=5m Timeout.dataint=2m Timeout.datablock=5m Timeout.datafinal=5m Timeout.quit=5m	無応答: 5分 DATAコマンド: 2時間 DATAコマンド以外: 3分	無し

補足 (送信ドメイン認証によるホワイトリスト)

Confidential

	変更前 (Sender-ID対応ホワイトリスト)	変更後 (送信ドメイン認証によるホワイトリスト)
設定値	ドメイン名またはメールアドレスを複数指定可	
ドメイン認証結果 (OR条件)	Sender-IDによる評価結果がPASSの場合	DMARC検証の結果がpassの場合
		DKIM検証の結果がpassの場合
		SPF検証の結果がpassの場合、かつ(AND条件)、 以下条件のいずれか(OR条件)に一致する場合
		エンベロープ From ドメインとFromヘッダドメインが一致
		接続元が転送クラスタかつエンベロープFromドメインとSenderヘッダドメインが一致(ML展開されたメールが対象)
比較条件	Fromヘッダが設定値(ドメインまたはメールアドレス)のいずれかと一致するかどうか比較(部分一致)	
条件合致時の挙動	通常メールとして取り扱う	

※本内容は、一部のお客様で、ドメイン管理者の契約がある場合の項目となります。

補足 (送信ドメイン認証によるブラックリスト)

Confidential

	変更前 (Sender-ID対応ブラックリスト)	変更後 (送信ドメイン認証によるブラックリスト)
設定値	ドメイン名またはメールアドレスを複数指定可	
ドメイン認証結果 (AND条件)	Sender-IDによる評価結果がFAILの場合	DMARC検証の結果がpassでない場合
		DKIM検証の結果がpassでない場合
		SPF検証の結果がfailの場合
比較条件	Fromヘッダが設定値(ドメインまたはメールアドレス)のいずれかと一致するかどうか比較(部分一致)	
条件合致時の挙動	SPAMメールとして取り扱う	

※本内容は、一部のお客様で、ドメイン管理者の契約がある場合の項目となります。

補足（ウィルス検知通知メール）

Confidential

【 移行前 】
該当メールを遮断、添付ファイルを全て削除し、
ウィルス検知通知の添付ファイルとして、受信者に警告メール
を送付します。

Envelope-From: <>
From: mail@cloudz.jp ※ドメイン管理者により変更可能
To: (元のメールの宛先)
Bcc: 各ドメインの管理者メールアドレス ※変更可能
Subject: [vcheck] (元のメールのSubject) ※タグ変更可能
-------　以下 本文（例）　----------
----------<WARNING MESSAGE START>----------
送信メールにウィルスが検出されたため送信を中断しました。
詳細情報は以下のとおりです。

送信元IPアドレス：
　　$[ip-address]
送信者メールアドレス：
　　$[mail-from]
受信者メールアドレス：
　　$[recipients]
件名：
　　$[subject]
ウイルス名：
　　$[virus-name]
削除した添付ファイル名：
　　$[file-name]

----------<WARNING MESSAGE END> ----------
元のメールを添付ファイルとして添付いたします

【 移行後 】
該当メールを遮断、添付ファイルを全て削除し、
ウィルス検知通知の添付ファイルとして、受信者に警告メール
を送付します。

Envelope-From: mail@cloudz.jp ※下記From アドレスと同じ
From: mail@cloudz.jp ※ドメイン管理者により変更可能
To: (元のメールの宛先)　※受信者に1通ずつ配送
Bcc:各ドメインの管理者メールアドレス ※変更可能
Subject: [vcheck] (元のメールのSubject) ※タグ変更可能
-------　以下 本文（例）　----------
（改行）
----------<WARNING MESSAGE START>----------
送信メールにウィルスが検出されたため添付ファイルを削除しました。
詳細情報は以下のとおりです。

送信元IPアドレス：
　　$[ip-address]
送信者メールアドレス：
　　$[mail-from]
受信者メールアドレス：
　　$[recipients]
件名：
　　$[subject]
ウイルス名：
　　$[virus-name]
削除した添付ファイル名：
　　$[file-name]

----------<WARNING MESSAGE END> ----------
元のメールを添付ファイルとして添付いたします